

令和元年度第1回八千代市図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和元年1月28日(火) 午前10時00分から午前11時45分まで

2 開催場所

教育委員会庁舎 2階 大会議室

3 出席者

◇八千代市図書館協議会委員

委員長	仲村 義男
副委員長	岡山 あけみ
委員	吉原 幸子
委員	大澤 紀子
委員	高橋 倉之
委員	大木 めぐみ
委員	赤崎 有紀子
委員	清水 佳恵
委員	中村 春菜

◇事務局

教育次長	林 雅也
参事	蕨 茂美
大和田図書館長	徳尾 美佳
八千代台図書館長	村山 晃代
中央図書館長(株式会社図書館流通センター職員)	八木 敏仁
緑が丘図書館長(株式会社図書館流通センター職員)	増田 紅美子
勝田台図書館(株式会社図書館流通センター職員)	片村 瞬
中央図書館主査	荒井 裕子
中央図書館司書	葛島 知子

4 公開又は非公開の別

公開

5 傍聴人定員及び傍聴人数

傍聴人定員 5名 傍聴人数 1名

6 議 題

- (1) 図書館協議会委員長及び副委員長の選出について
- (2) 令和元年度事業報告（上半期）
- (3) 令和2年度事業計画（案）
- (4) その他

7 会議資料

- (1) 令和元年度第1回図書館協議会次第
- (2) 八千代市図書館協議会委員名簿及び席次表
- (3) 資料1 令和元年度事業報告（上半期）
- (4) 資料2 令和2年度事業計画（案）
- (5) 資料3 大和田公民館・大和田図書館仮設施設 平面図・外観図・配置図
- (6) 図書館年報（2019年度）

発言者	発言内容
事務局	<p>さて、会議に先立ちまして、本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>まず、本日の配布資料ですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1回図書館協議会次第 ・八千代市図書館協議会委員名簿及び席次表 ・資料1 令和元年度事業報告（上半期） ・資料2 令和2年度事業計画（案） ・資料3 大和田公民館・大和田図書館仮施設設置 平面図・外観図・配置図 ・図書館年報（2019年度版） <p>の6点でございます。</p> <p>不足している資料はございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>定刻となりましたので、令和元年度第1回八千代市図書館協議会を開会いたします。</p> <p>皆さま、本日はお忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。なお、今仲委員は、本日は欠席とのご連絡をいただいております。本日の出席委員ですが、9名出席で過半数を越えておりますので、会議は成立でございます。</p> <p>進行は、私、中央図書館主査の荒井が務めさせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関ですので会議の中でご意見などございましたら是非ご発言ください。</p> <p>本会議は「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」に基づき、会議を公開いたします。会議録作成のため、本日の会議は録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>はじめに、教育長からあいさつをいたします。</p>
教育次長	<p>皆さま、おはようございます。教育次長の林と申します。</p>

本日は大変お忙しい中、またお足元の悪い中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本来でございますと、ここで教育長があいさつをさせていただくところではございますが、公務により出席ができませんので、教育次長の林が教育長からのあいさつを代読させていただきます。

委員のみなさまには、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、今年度の7月から新たな2年間の任期で委員をお受けいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。どうぞよろしく願いいたします。

さて、図書館はさまざまな資料や情報の提供を通じて市民の皆様の学習支援及び生涯学習を行うための施設であり、市内5つの図書館が連携し、迅速な資料提供、レファレンスサービスの充実など、さまざまなサービスの提供を行っております。

また、市民の皆様が利用しやすい図書館を目指し、おはなし会や朗読会、映画会などのイベントを行うことで、利用促進や読書活動の普及に努めております。

本年度は大和田図書館の老朽化対策として10月から同じ敷地内に整備した仮設建物に移転し、大和田公民館との複合施設として地域の皆さまにご利用をいただいております。

また、中央図書館・勝田台図書館・緑が丘図書館では指定管理者制度を導入しておりますが、来年度から新たな5年間の指定管理者と致しまして、現行の中央図書館の指定管理者であるオーエンス・TRCグループを次期の指定管理者に選定し、議会の承認を受けたところでございます。

さらに図書資料総合管理システムについて、令和2年4月から機器を更新し、あわせてホームページのリニューアルなども行う予定となっております。これからも多くの市民の皆様にご利用いただけるよう、より良い図書館サービスを提供していきたいと考えております。

また、来年度には八千代市の図書館についての構想を検討することとしており、皆さまからも忌憚なきご意見

事務局	<p>を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>本日は昨年7月から新たに委員になられ、最初の会議となりますことから、委員と副委員長の選出などを予定しておりますが、委員の皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますがあいさつとさせていただきます。</p> <p>八千代市教育委員会教育長 小林伸夫 代読</p> <p>次に、委員の皆様をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしますので皆様には一言、お願いしたいと思っております。</p> <p>(委員紹介)</p>
事務局	<p>委員の皆様，どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>次に，職員を紹介をいたします。</p> <p>(事務局職員紹介)</p>
事務局	<p>さて，議題に入りますが，本日は委員委嘱後，初めての会議開催となるため，議長となる本協議会の委員長が選出されておられません。</p> <p>八千代市図書館協議会運営規則第2条第1項に基づき，委員の互選により決定することになっております。</p> <p>仮議長を立てまして議事の進行をしたいと思ひますが，仮議長の選出につきましては，事務局に一任いただけますでしょうか。</p> <p>(委員より異議なしの声)</p>
事務局	<p>それでは，仮議長は参事にお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>

<p>仮議長</p>	<p>私，蔵と申します。生涯学習振興課長を兼ねていますので，よろしくお願いいたします。失礼して，座らせていただきます</p> <p>それでは，議題1の，図書館協議会委員長の選出ですがどなたか委員長に立候補，あるいはご推薦はございますでしょうか。</p> <p>今日初めてお集まりになった方ということなのですが，互選ということでございまして，委員長に立候補していただける方，または推薦をいただければと思うのでございますが，いかがなものでございましょうか。</p> <p>そうですね，なかなか難しいですよ。まあ立候補，なければご推薦というかたちでございまして，何かちょっとやってみようかなと思う方，ご興味がある方でも大丈夫と思います。委員長は，事務局のほうがかバーいたしますので，そこらへんは安心してやっていただけます。図書館のことを思っている，熱意のある方でしたら大丈夫だと思います。そうですね，経験等そんなに問いません，大丈夫でございまして。</p>
<p>仲村委員</p>	<p>はい，やらせていただきます。</p>
<p>仮議長</p>	<p>ただいま，仲村委員が立候補がございましたけれど，皆さま，いかがでございましょうか。</p> <p>(一同拍手)</p>
<p>仮議長</p>	<p>ありがとうございます。それでは委員長をお願いしたいのですが，なにぶん今日始めてでございまして，ここで少し休憩をとらせていただきます。段取りなどございますので，ここでしばし休憩をいただきたいと思えます。申し訳ございませんが，よろしくお願いいたします。25分から再開ということで，お願いいたしたいと思えます。</p> <p><休 憩></p>

事務局	<p>時間となりましたので会を再開いたします。</p> <p>これからの議事進行については、八千代市図書館協議会運営規則第3条第1項の規定によりまして、委員長が議長となります。</p> <p>委員長、よろしくお願いいたします。また、委員長からひと言挨拶をお願いしたいと思います。</p>
仲村委員長	<p>委員長になりました仲村義男と申します。よろしくお願いいたします。ここに出てくるのも初めてで、何をやるのかなということがかがって、そしてまた委員長ということで、今打ち合わせしただけなのですが、先ほど挨拶しましたように、私は本当に八千代市の図書館はいろいろな取り組みをしてすごいなというふうに思っていて、ありがたいなという気持ちでずっといました。で、それに対しても加わるようにということで応募したわけなのですけれども、市民委員としてやらせていただけること、本当に感謝しています。</p> <p>今回、委員長ということで、やらせていただくわけですけれども、そういうことで少しでも、今から始めますが皆さまのご協力をいただきながら、進めていければいいなと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(委員一同からよろしくお願いいたしますの声)</p>
仲村委員長	<p>それでは、副委員長の選出ですが、どなたか立候補あるいは、ご推薦はございますでしょうか。</p> <p>ぜひ皆さんのほうから積極的にお願ひできればと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>どうでしょうか。</p> <p>委員名簿を見ますとだいたい皆さん初めてという方が多いわけなんですけれども、もし去年からやったださっている方で、やっていただけるとありがたいと思うんですけれども、どうでしょうか。</p>
岡山委員	<p>先ほども申しましたように文庫代表というのがちょっと。今まではずっとやっていたのですけれども、それで</p>

仲村委員長	<p>どうしようかなと思うんですが。副でしたら、はい。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>(一同拍手)</p>
仲村委員長	<p>それでは、岡山委員にやっていただけるということで すので、皆さんいかがでしょうか。</p> <p>(一同拍手)</p>
仲村委員長	<p>どうもありがとうございました。では、一緒によろしく お願いします。</p> <p>それでは、副委員長も決まったということで、副委員 長さんより一言ごあいさつをお願いしたいと思います。 よろしくお願いします。</p>
岡山副委員長	<p>はい。岡山です。よろしく申し上げます。委員長と一 緒にやらせていただきたいと思いますので、よろしくお 願いいたします。</p>
仲村委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、さっそく議題の2「令和元年度事業（上半 期）の報告」についてに入っていきたいと思えます。事 務局より説明をお願いします。</p>
大和田図書館長	<p>令和元年度の5館の統計報告につきましてご説明させ ていただきます。お手元の「資料1 令和元年度事業報 告 上半期」をご覧ください。年度途中のため、予算を 除き、統計につきましては、4月から9月末までの数字 となっております。1. 予算等の(1)は市内5館分の 資料費一覧でございます。合わせて3, 450万3千円 で資料費の雑誌費, 新聞費などの内訳は表の通りとなっ ています。(2) 購入冊数は5館合わせまして, 7, 05 7冊です。(3) 図書館の蔵書冊数, 視聴覚資料の所蔵点数 は, 表のとおりでございます。(4) 開館日数は151日</p>

ですが、中央図書館は八千代ふるさと親子祭りの開催のため8月25日と26日は休館し、月末休館日の8月30日は開館しましたので150日。大和田図書館は仮設施設への移転作業のため9月2日から9月30日まで休館しましたので128日となります。

次ページをお願いいたします。

(5) 貸出冊数ですが、個人への貸出は5館合わせて60万5,377冊で各館の内訳は表の通りでございます。団体貸し出しは、学校や保育園など、延べ156か所へ本を配本しました。(6) 新規の登録者は、5館合わせて3,117人で内訳は表の通りでございます。(7) リクエスト処理件数は5館合わせて114,138件です。各館ごとの提供方法別の処理件数は表のとおりでございます。リクエストの受付方法ではホームページからが約80%を占めております。ご自宅のパソコンやスマートフォンの活用慣れていることがうかがわれます。

(8) ブックポストの利用状況は表のとおりでございます。(9) レファレンス件数は5館で計5,192件となっています。(10) その他としまして、インターネットをはじめ各利用件数は表の通りです。

引き続きまして4ページ、2. 行事報告に移ります。

はじめに、大和田図書館の報告をいたします。大和田図書館の主催事業は合計で40回の開催で、延べ568人の方の参加がありました。

資料にありますように年齢別のおはなし会を定期的に行っています。4歳以上の子ども対象の「おはなし会」を毎週水曜日、0,1歳児とその保護者を対象とした「赤ちゃんと楽しむ絵本の会」と2,3歳児とその保護者を対象とした「親子で楽しむ絵本の会」は8月を除く毎月1回開催しました。

6月には2,3歳児と保護者を対象に「図書館であそぼう 親子でちぎり絵・夏の野原であそぼう」を開催しました。この講座は、ボランティアで講師をしてくださる方と企画し、毎回テーマを決めて大きな和紙に絵を描き、出来上がった作品は児童室に展示しています。この講座が最初の開催から20回目を迎えたので毎回ボラン

ティアで来ていただいている講師の方へ館から感謝状をおわたしました。これからも、講師の方と一緒に参加者が喜んでもらえるような企画をしてこの講座を続けていきたいと思えます。

今年度は、新しい企画として、「めざせ！なんもん クイズをつくろう！」を8月1日から9月1日までの児童の夏休み中に行いました。図書館で用意したクイズを子どもたちが解く「図書館クイズ」というイベントは行っていましたが、クイズが好きな子どもたちがいるならその子たちにクイズを作ってもらおうと思って企画しました。図書館で用意した3冊の本、「エルマーのぼうけん」「はじめてのキャンプ」「たろうのひっこし」「かきどろぼう」を読んでクイズを作ってもらいました。

9月までの報告のためここには記載されていませんが、作ってもらったクイズの中から図書館で選んで読書週間に図書館クイズとして解いてもらうというイベントも行いました。

夏休みには「こわい話のおはなし会」を開催しました。小学生を対象として部屋を暗くして幽霊がでてくる素話や紙芝居などを行いました。

また、7ページ、「ボランティアによる活動」にありますように、大和田図書館で月2回、八千代布の絵本製作サークルが活動しています。サークルの方々が手作りした布の絵本は市内5館に配布され手に取って楽しむことができます。

以上で大和田図書館の報告を終わります。

八千代台図書館長

八千代台図書館の村山と申します。よろしくお願いたします。

八千代台図書館の今年度の行事といたしましては、主催事業については、資料1の5ページの記載のとおりで、前年度好評であった事業を引き続きおこないましたので新規の事業はございません。

昨年9月より、水曜日の3時40分からおこなっていましたがおはなし会を土曜日の2時からに変更しました。以前の放課後の時間は、声掛けしても4時から習い

勝田台図書館長	<p>事があるとか早く帰らなくてはならないと言われて、なかなか子供たちが集まらなかったんです。比較的児童室が混雑している時間におはなし会をしたらどうだろうと考え開催曜日変更をいたしました。</p> <p>曜日変更の周知は館内張り紙と図書館のホームページのお知らせに掲載しました。</p> <p>水曜日は、こども同士、あるいは単独で来ていましたが、土曜日は、ご両親やおばあちゃんなど大人と来る子供が多いため大人のかたも一緒に参加していただき、おはなし会も活気がでていっているように感じます。</p> <p>また2月からは児童室でおはなし会を行うこととなりましたので、多少様式を変えなくてはなりません。これからの新たな取り組みとして、当初は試行錯誤となってしまいますが、利用者の皆様の様子を見ながら、楽しんでいただけるおはなし会にしていきたいと考えています。</p> <p>館内については、1階が一般室、2階が児童室となります。閲覧室には展示コーナーを設営し、担当者が利用者の方に喜んでいただけるよう毎月テーマを変え趣向を凝らしています。毎月楽しみにしていただいているようですが、今月はひみつ文庫といってクラフト紙でブックカバーしてあらすじだけをのせ題名や著者名はひみつにしてあるものですが、文庫ということもあり気軽に手にとっていただけることもあってか、通常よりも貸出が多くなっています。</p> <p>また最近は大人が絵本に興味のあるかたが多いようで、子供たちが幼稚園や学校に行っている平日の午前に大人の方の児童室のご利用が目立つように感じます。</p> <p>以上、八千代台図書館令和元年度の行事報告となります。</p> <p>勝田台図書館館長の片村と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは勝田台図書館のご報告をさせていただきます。資料1の2ページ、こちらが勝田台図書館の資料でございます。</p>
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

まず勝田台図書館の特色といたしまして、利用者の方が非常に60代の方から80歳の方の高齢者の方のご利用がほとんどでございます。また、当館で長いことボランティアとして活動してくださっている大人のための朗読を楽しむ会開催の虹の会の方のご協力を得まして、大人のための朗読を楽しむ会というのがもう大体10年くらい続いております。そのため、朗読イベントなどを多く開催させていただいております。表でいきますと、朗読に関するものとしまして5番、続いて13番そして18番ですね、以上が朗読関係のイベントでございますが、やはりいずれも参加率は非常に高い数字になっております。13番なんですけれども、こちらちょっと募集20人に対して参加9名となっておりますが、ちょうどこの日が非常に悪天候となっております、実際に参加をご希望されている受付自体は17名ということで、ほぼほぼ8割がたご希望があったということではございますが、残念ながらちょっと天候が悪くて雨天キャンセルということでキャンセルが相次いだということでございます。

また、先ほど申し上げましたとおり、高齢者の利用の方がほとんどでございますが、実は昨今ですね乳児をお連れのお母さま方がですね、0歳から2歳くらいのお子さんのためのおはなし会というものはあまり開催されていないのでしょうかということで要望がございまして、それでこちらにありますとおり赤ちゃんと楽しむ絵本の会、親子で楽しむ絵本の会というものを行ってはいませんが、それとは別にですね、絵本とわらべうたであそぼう、こちらのほうが0歳から1歳半くらいの方を対象にしております。こちらに6番の絵本とわらべうたであそぼうに参加している方から、もう1回くらい増やしてもらえないかということでですね、急遽増やしましたのが、10番の絵本とわらべうたであそぼうヨチヨチ向けでございます。実は絵本とわらべうたであそぼうというイベントに参加できるお子さんを0歳から1歳半くらいとしておりますが、ヨチヨチ向けに関しては1歳半から2歳半くらいということでですね、実は昨年絵本とわらべうたであそぼうに参加した方が今年ヨチヨチに参加す

るということで、こういったかたちです、どんどん参加の利用者をつなげていこうということで今回増やした事業でございます。こちらについてはですね、10名ほどお越しいただいております。

またですね、勝田台図書館ですね、この度昨年度から劇団の方々とのコラボレーション企画ということで先ほど申し上げた13番と18番の朗読劇を開催しております。こちらの劇団ですがアマチュアではなくてですね、実際のプロの現場で活動されている役者さんの方々の集まりでございます。こちらの方公演費交通費など踏まえ全て無料で行っていただいております。こちらの方はですね、非常に、特に夏に行われた朗読劇18番の第3回の方がですね、非常に人気ということもございましてこれ以降もこちらで続けていただけることになっております。

またちょっとこちらの方には記載がございませんが、勝田台図書館では昨年度から雑誌スポンサー制度というものを導入させていただきました。雑誌スポンサーというのはですね、市内の企業の方からですね、図書館の雑誌をですね寄贈していただくというかたちになります。これによってですね、雑誌費を一部企業の方に負担していただくことにより、資料費がですね、その分別の新刊の本であったり、そちらのほうにあてることができます。現在勝田台図書館では3件の雑誌スポンサー制度を導入しております。昨年度は4件のご協力をいただいていたのですが、1件が個人事業主の方でいらっしやいまして、実は今年度事業を終了するというお話をいただいておりますので、1件減ってはしまうのですが、最終的には3件ということですね、なお昨年度ご協力いただいた企業の方々からは全て更新をしていただいておりますので、3件の方はまた次年度以降も雑誌スポンサーとして入っていただくこととなります。

またページをめくっていただきまして8ページですね。8ページの真ん中下のあたりに勝田台図書館の連携事業ということで市内の中学生の職場体験の受け入れをいたしました。こちらは勝田台中学校、八千代台西中学

緑が丘図書館長

校，村上中学校，松陰中学校の合計4校からご依頼がありまして，こちらのほうで図書館の仕事を体験していただくというものでございました。なお勝田台にありますわせがく高等学校ですね，図書館の使い方であったりそういうことを教えてほしいということでご依頼がありまして，わせがく高等学校の生徒さん教師の方合わせて19名が図書館案内また調べる学習支援ということで本の検索であるとか学習の方法であるとかを支援させていただきました。勝田台図書館の報告は以上でございます。

緑が丘図書館の増田と申します。お願いいたします。
では緑が丘図書館のご報告をさせていただきます。

おはなし会につきましてはお手元の資料6ページの下のとおりでございます。お天気にも影響されますけれども，毎回多くの皆様にご参加いただき，お楽しみいただいております。

また今年度はほぼ毎月，DVDの上映会を開催しておりますが，特に大人向けの名作シネマ，こちらの上映会が好評でございまして，9月と10月はどちらも90名以上のご参加をいただきました。暑い中，年配の方も数多くご来館下さり，展示していた関連本を実際お手に取って，興味深くご覧になっていました。上映会の終了後には，会場からエレベーターをご利用になって，3階2階の図書館に立ち寄ることなく，そのままお帰りになる方も多くいらっしゃるんですけども，本のお楽しみ袋ですとか2階の児童室こちらにお立ち寄りいただけるようご案内するなど，スタッフ一同そちらのように努めております。なお貸出につなげていけるよう魅力ある資料づくりと棚づくりを目指していきたいと考えております。

次にお手元の資料の7ページ，19番，こちらの方のご案内をさせていただきます。保護者向け！これで安心！子どもの夏休み自由研究，図書館を使った調べる学習コンクールについてのご説明では3回に分けて開催し，合計38名の保護者の方にご参加くださいました。内容といたしましては，なぜ今調べ学習なのか，調べる学習に取り組んで育つ力，調べるヒントなどなどTRC

	<p>八千代中央図書館作成の資料を使わせていただきながら、保護者の皆様にご説明いたしました。その後のアンケート結果から、調べる学習の進め方ですとか、その重要性についてとても理解することができた。また保護者の方の意欲に大きくつながったことなどうれしいお声を数多くいただきました。おかげさまで今年は調べる学習コンクールに900作品のご応募をいただくことができました。数多くの評価をいただいております。緑が丘図書館の元年度の報告は以上でございます。</p>
中央図書館長	<p>中央図書館の八木と申します。よろしく申し上げます。報告に先立ちまして、委員長にお願いがございます。個別に別紙資料を用意しましたが、配布してよろしいでしょうか。</p>
仲村委員長	<p>お願いします。</p> <p>(中央図書館長より資料配布)</p>
中央図書館長	<p>言葉でお話するよりは資料があったほうが良いかと思ひまして。</p> <p>こちらの資料と、先にお配りしております報告の資料の4ページ・5ページを見ていただきたいと思ひます。</p> <p>まず、中央図書館の来館者数と貸出冊数は、指定管理におきまして、5年間の数字となっております。27年、28年、29年、30年度と年度がございますが、目標という数字がございます。これは毎年ですね、年度計画書、事業計画書で、今年度この目標で頑張りますというお話をさせていただいているのですが、平成30年度は残念ながら、27年度の初年度の来館者数の数値にも届かない、目標を達成できておりませんでした。そして、令和元年度、今年に入りまして途中の数字ですが、12月末暫定の数字でございますが、貸出冊数40万冊に対しまして36万5,312冊、来館者数は35万人に対して26万6,119人というかたちになっております。</p> <p>右のほうを見ますと、対前年度で124.2パーセン</p>

トが貸出冊数の増加率, 来館者数におきましては111.4パーセントというかたちになっております。

年度末, 予測を, 単純に平均を足しただけでございますが, 予測でいきますと貸出冊数は48万, 来館者数は35万ということで見事達成する予定でおります。これがこういうかたちの数字になったのは, 皆様ご存知かと思っておりますが, 中央図書館広い駐車場がございますが, 昨年度までは駐車場有料でございました。今年度4月から市長をはじめ市の方が千葉県との交渉をしていただきまして, ようやく1時間無料のかたちになりました。これがすべてかどうかは来年度にならないと分からないのですが, というおかげでございまして, 設定した目標がなんとかいけるかなあと考えております。

続きまして, 下のほうの表でございまして, これは指定管理の5年間におきまして, 毎年度重点目標ということで5つの目標をかかげて, それを順次というかたちで行いました。

まずですね, 初年度から行っております乳幼児の保護者向けのサービスということでございまして, この数字は託児サービスの利用者数というかたちになっております。平成30年度は2,490で, だいたい前年29年度と同じ数字でございまして, 今年度ですね, 少し数字が11月末までで数字が落ちております。これは落ちている理由がいくつかございまして, 今年度より託児の受付方法を少し変更させていただきました。今までは, 順番に入っていたのですが, 利用の安全性と確実にお預けいただけるのと, お預かりしたお子様をお返しするという部分で, 保育者と相談しまして, 3部制の時間にさせていただきまして, それぞれの時間が7名ということで, 3部やっておりますが, 3部かける7で21名ができるのですが, これまでと違った受付方法となりましたので, 少し1回あたりの人数が若干減っておりますが, それでもだいたい1日につき14人から20人弱の利用をいただいているかたちでございまして, ちょっと数字的には落ちているというかたちです。あくまで12月末までです。なのでこの先どうなるか分かりませんが。

続きまして、28年度から続けております学校連携、これは勝田台図書館、緑が丘図書館の話でもございました調べる学習コンクールということを実施しております。これは今年度無事に終わりました令和元年度の参加数、市内の小中学校の皆さま方から3,200作品の応募をいただきました。3,200作品といたしますと、市内の小中学校の児童生徒のだいたい20パーセントを超えるような数字でございます。こちらは今日委員できていただいております吉原委員と大澤委員の両先生をはじめ、教育委員会、あるいは地域の方々、保護者の方々、たくさんの方々にご協力いただいて、ここまで効果があったと思っております。お蔭様で、平成28年度に全国コンクールで活動賞というかたちで、良く頑張りましたということで、初年度に表彰いただいたのですが、今年度も活動賞ということで2回目をいただきました。これは今年度からルールが変わりまして、これまで2回目はもらえなかったのですけれども、今年度から2回目をあげますよと全国コンクールのルールが変わったのですけれども、そしてすぐにいただくことになりました。これは当然ながら2回もらっているのは全国初めてですので皆様のご協力に感謝したいなというふうに思っております。

3つ目は多文化サービスで基本的には英語が今のところメインになっておりますが、英語のいろいろなイベントを開催しております。今年度は20回、662名というかたちでご参加をいただいております。右のほうにそれを補うようなかたちで、絵本の蔵書の数を書いておりますが、これは3年くらい前だと思いますが、大使館のほうから寄付をいただきまして、中央図書館のほうで蔵書しているというかたちでございます。

30年度は、医療サービスに力を入れまして、医療情報サービスの提供に力を入れまして、30年度は年間5回の講演会で114名の参加、今年度はさらに増やしまして年間6回の講演会になっております。こちらは先にお渡ししております4ページ、5ページの資料で、17番、25番、38番、40番ということですので4回開

催をさせていただいております。合計で165名の参加ということですが、あと2回開催予定になっておりますが、こういう講座というかたちで開催をさせていただいております。それにあわせまして、図書館の中では医療情報の展示ということで、テーマにあわせた本の紹介をさせていただいております。

最後ですね、令和元年のほうですが、今年度はビジネス支援ということをして、力を入れてさせていただいております。これは、ニューヨークで始まったビジネス支援は起業家を支援するというかたちがいろいろな図書館で行われているのですが、起業する方はそんなに多くありませんので、できましたら普通に働いているビジネスマンの方に支援をできればということをお考えして、プレゼンテーションの話と、日経新聞のということで今年度2回開催を予定しております。じつは日曜日に、プレゼンテーションの力ということで講演会をさせていただきました。13名か14名かが参加いただきまして、非常に好評をいただいておりますので、第2回目の日経新聞の見方も、頑張っただければなと思っております。

こちらはビジネスと医療に関しましては選書を行う際にも、特別に力を入れて少し重点的に本を選ばせていただいております。

最後になりますが、これの下の方の左側に米印3つついております。これを説明させていただきますと、プログラミング講座というのを、中央図書館で夏休み前に行いました。これは、ロボットをプログラミングして動かすというかたちになっておりまして、5台のロボットを動かして、5日間開催いたしました。すぐに満員になりまして、今の小学校・中学校でプログラミングの授業が必須になることも含めまして、今後もこういう関連で、図書館で考えていきたいと思っております。

その下が、平日毎日おはなし会とございます。昨年度にこの場で来年度は毎日平日におはなし会をしますという宣言をして、宣言どおりに4月から、月曜日がお休みなので、火、水、木、金の毎日、基本的には午前中、0歳児から3歳児を対象に、おはなし会をさせていただ

<p>仲村委員長</p>	<p>ております。右のほう、ちょっと小さい字ですが、昨年度は1年間で130回、2,012人の参加だったのですが、今年度は現12月時点で211回の開催、3,363名の参加というかたちになっております。</p> <p>どういのおはなし会かと申しますと、さきほどの4ページの1番から6番までになっております。1番のおはなし会でございますけれども、去年は1年間で49回の677名の参加でしたが、すでに97回、1,439人、これは半年の数字なのですが、1番多かったのは、夏休みの8月ですね。1番から6番までで、1ヶ月で500名からの参加をいただいております。</p> <p>最後になります電子図書館サービス、八千代市は千葉県の中でも早めに電子図書館サービスを行っております。こちらは右のほうのグラフ、これは貸出の月の平均でございます。2つ波がございます。1つ目の山は2016年度から2017年度にかかったこの山は電子図書館の登録方法を変更いたしまして、これまで中央図書館しか登録していなかったのですが、せつくなので八千代市全館で登録しませんかということで、利用者を増やすという戦略をとりまして、登録者数を増やすということで貸出冊数が増えました。2019年度の右肩上がりの伸びは、それではあきたらず、登録する人のすべての方に付随するかたちで電子図書館を使えるようにしたらどうかと。これまでは、私使いたいですという申請があった人にだけ電子図書館の登録をしていたのですが、図書館の利用券を作ったときに全ての方に電子図書館を使えるようにしてしまえば、そうすればさらに使ってもらえるだろうということで、ほかの4館の方とご協力いただきまして、その結果、貸出冊数が増えたというふうになっております。</p> <p>少し長くなりましたが、以上でございます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>各図書館の館長さんから、説明いただきました。ただいまの説明に対し、ご質問、ご意見などはございますでしょうか。</p>
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

高橋委員	はい、よろしいでしょうか。
仲村委員長	では、高橋委員お願いします。
高橋委員	座ったままで失礼します。資料1ページの一番上のところで、予算等々ですけれども、この資料そのものは4月から9月までですね。4月から9月までの実績だろうと思うのですが、1番の(1)のところの、当初予算がトータルで3,450万、これはやはり年間予算の半分にした金額なのではないでしょうか。
仲村委員長	はい、それでは、事務局お願いします。
大和田図書館長	予算につきましては、年度の予算になりますので、半期分の予算ではなくて、4月から3月までの予算になっています。予算ということで使える予算、年度で使える予算になっております。
高橋委員	年間の予算が3,450万ですね。それで、使える予算ですね。
大和田図書館長	はい。
高橋委員	当初予算ですよ。上のほうの4月から9月までの上半期の報告というのは。
仲村委員長	はい、事務局。
大和田図書館長	すみません。予算については、4月から9月ではなかったのですが、書き方が分かりづらかったかもしれないのですが、(2)以降の数字につきましては4月から9月までの数字になります。
仲村委員長	(1)の令和元年度資料費年間当初予算は1年間で書いてあって、(2)以降の何冊貸しましたとかっていう

高橋委員	<p>(2) 購入冊数以降は、4月から9月までのことよろしいですか。</p> <p>1番と2番以降は全く全然別ということですね、そうですね。分かりました。</p>
仲村委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、そのほか、委員の方々からご意見ご質問ありましたら、よろしくお願いします。</p>
大澤委員	<p>はい。</p>
仲村委員長	<p>では、大澤委員、お願いします。</p>
大澤委員	<p>はい。学校関係ということで、教えていただければと思うんですが、2ページの貸出冊数のところで、団体貸出関係の数が少し少ないなあというふうに思っていたのですけれども、これは学校に関して言えば、学校からの要請が少ないっていう実態ですかね。ですよね、はい。分かりました。</p>
仲村委員長	<p>事務局、よろしいですか。</p>
中央図書館長	<p>中央図書館八木でございます。ご質問にお答えいたしますと、そのとおりでございます。こちらの数字はですね、こちらに書かれていますように、保育園とか児童館も含めての数字になっております。実は小学校さんから、中学校さんから、学校そのものからの依頼が少ない。実は我々のほうも悩んでおります。考えていかないといけないのですが、なぜ少ないのかが難しいというのはあるのですが、ひとつは毎年当初の4月の段階で、学校の司書の方または学校の司書教諭の方に、団体貸出をやりますよという話をさせていただいているし、2年くらい前からは月2回の会合を学校のほうで開催させていただいていますけれど、まだ少ない。ということは最後に残っているのは、貸し出しできる資料の数あるいは質の問題と</p>

	<p>考えておりました、こちらに関しましては、学校の方々からの要望が重なるんですね、時期が結局。だからたくさん複本をご用意してできるだけ学校の方にお借りいただけるよう考えて、考慮していければなと考えております。</p>
大澤委員	<p>ありがとうございます。よろしいですか。</p> <p>本当にですね、学校のほうとしましては、すごく市内の図書館の方々にいろいろとこう、交流をしていただいお世話になっているなという感触があるんですね。で、なかなか学校内の図書はやはり充実しているかと言われるとそうではないところもありますし、また子どもたちが学校の授業の中でもたくさんの資料を使ったりして調べる学習というのが今すごく大切になってきていますので、また学校サイドでも図書館ともっと上手く友好的な交流が出来るように、図書館の財産を学校にも貸していただけるように、また少し検討できるように働きかけをしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
吉原委員	<p>はい。</p>
仲村委員長	<p>はい、それでは吉原委員お願いします。</p>
吉原委員	<p>それについて、今大澤先生がお話されたのですが、今先生方、それは私たちの責任なのですが、ネットで調べればいいと安直にそちらへ走ってしまうことの弊害が非常に大きいなというように、私も学校の状況をみて思います。</p> <p>私は今市教研の図書館部会の担当なのですが、このあいだ調べ方の研修を受けたときにやはり本から調べるのが最初という、ただ安直にネットだけでつながってぜんぜん調べられない、時間だけが過ぎていくという現状をみながら、やはりそういうことを先生方に話して行って、市図書館と連携できるいようにしていかなければいけないと思っています。それは学校の課題でもあります。</p>

仲村委員長	<p>今のご意見について、何か事務局からございますか。 はい、八木館長お願いします。</p>
中央図書館長	<p>そちらに関しましては、こちらのお配りいただいた資料の4ページ目ですね、29番、30番ということで、調べる学習支援ということで、学校への出張事業を行わせていただいております。</p> <p>あと、まだまだ図書館の中のほうで、できる人間を強化して増やしておりますので、逆に学校さまからのご要望をお待ちしているような状況ですので、ぜひご利用いただければと思います。</p> <p>あと、最終ページの連携事業の3番ですけれども、今吉原先生のおっしゃっていた市教研の先生方向けにお話をさせていただいておりますので、図書館部会だけではなく、調べ学習にも関係するかもしれませんので、協力していきながら広めていければと思っておりますので、ご要望をお待ちしております。</p>
仲村委員長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>事務局より回答がありましたけれども、委員の皆様から何かありますでしょうか、このことに関して。よろしいですか。</p>
岡山副委員長	<p>すみません。</p>
仲村委員長	<p>はい。</p>
岡山副委員長	<p>学校司書、先生ではなくって、学校図書館の司書と図書館との連携というか、前は、私もお友だち関係で知っているのですが、それで質問なのですからけれども、今はあんまりないとそういうふうに。そこらへんの連携というか、ないのでしょうか。校長先生と図書館ではなくて、学校司書というのは今各学校にありますよね。今、本当は各学校に1校1人なのだけれど、八千代市の場合2校に1人にしても、必ずおかなければならないことになって、昔よりはずっと学校司書の先生たちがいろいろと活動さ</p>

	<p>れてて、その先生たちがいろいろ先生からご希望を聞いて団体図書のこういう本が欲しいとかを全部窓口になって図書館に団体貸出をお願いしたりとかいろいろ活動走されていたというお話を良く聞いたのですけれども。今そういう活動が少なくなっているってきいたので、そこらへんは、図書館の学校司書の先生との連携というのは。</p>
仲村委員長	<p>事務局いかがでしょうか。 はい、八木館長お願いします。</p>
中央図書館長	<p>はい。うちのほうで団体貸出をやらせていただいておりますが、今岡山委員がおっしゃっていた部分でいきますと、普通の司書と学校司書との関係におきましては普段からこういう本が必要なので探していただけますかという、図書館の在庫を検索したり、あとは学校司書の新しい方々向けにおはなし会の仕方などを話している状況でございます。ただ、週に1回か2回かにおいて、業務としてできる部分が司書さんには少ないかなという部分がございますので、そのあたりは少しお互いが時間を残しながら、われわれとしてアプローチしていかなくてはいけないのは、団体図書はこういうふうなものがあるので、こういう使い方をこうしてくださいという部分、今は先ほど申しましたように少し資料としてはやや弱いかなという感じも個人的にはしておりますので、今年度もできるだけ、大きな声でいうとあれなのですが、児童館とか保育園の方は絵本とか紙芝居とかたくさんご利用いただいているのですけれども、そちらは充実はしているのですけれども、学校のほうはなかなか充実していなかったように思いますので、団体の資料費というのは予算どりにしておりますので、学校の調べ学習に貸出できるような本をたくさん揃えるかたちを考えさせていただいているところですので、そのへんの資料が揃いましたら、また学校図書館の司書教諭あるいは司書の方とご相談させていただきながら、ますますですね、図書館の利用をしていただけるようにしたいなと思っております。ぜひよろしくお願いたします。</p>

仲村委員長	<p>事務局より回答ありましたが、その答えについてご意見ございますか。よろしいですか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、ないようですので、ほかに何かございませんか。</p> <p>委員の方いかがでしょうか。</p>
高橋委員	<p>もう一回いいですか。</p>
仲村委員長	<p>はい。高橋委員どうぞ。</p>
高橋委員	<p>しつこくて申し訳ない。この資料の一番最初の1の予算のところだけがね、年間ですと。あとは全部4月から9月ということですね。で、この会議は年に1回しかないのですよね。そうですね。</p>
仲村委員長	<p>はい、事務局どうでしょうか。</p>
高橋委員	<p>ちょっと聞きたいのは、年に1回ということであれば、4月から翌年の3月までのまとめはどこでどんなふうに行っているのかなど。それを知りたい。</p>
仲村委員長	<p>はい、事務局お願いいたします。林教育次長。</p>
教育次長	<p>この協議会の実施回数につきましては、ここ何年かは年1回というかたちでやっております。ただ最初の教育長のあいさつでございました、今度来年度につきましては、図書館についての将来的なあり方について検討してみたいと考えておりますので、そうした諮問事項がある際や、大きな図書館にかかわる課題がある際には、年1回と決められているわけではございませんので、その抱えている課題によりましては年数回の開催も行う場合がございます。なお、半年分の報告をここでやっておりますので1年分につきましては今日お手元のほうにお配りしました図書館年報、毎年度終わってから整理しますので、翌年度の会議の際にお渡しするようなかたちに</p>

仲村委員長	<p>なっておりますが、まるまる1年分ということだと毎年度この図書館年報を整備しておりますので、こちらのほうが1年分の動きの参考になるかと思えます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
高橋委員	<p>はい、分かりました。ただし、これ会議はですね、半年分だけの話でどうのこうのいう問題ではなくて、年間のいろいろな予定があつて、目標があつて、実績があつて、やっていると思うのですね。ですから、今これいうと、去年のことは何にも出てこないのかなと、年間としては。これから、今までの、去年のっていったらおかしいですね、1年間ですね、4月から9月までの実績はでて、これであとは次の人にお渡ししようという感じで、当たり前になっていること自体がおかしいのと違いますか。年間のまとめはどこでどうやっているのか、それが知りたい。年間でみんな聞きたいことがいっぱいあると思うのですが。どうなのでしょう。</p>
仲村委員長	<p>いちおう事業報告としては、この半年分の4月から9月までの半年をのせてあつて、でも1年間として委員として言いたいことがあるってことでよろしいでしょうか。</p>
高橋委員	<p>言いたいことがあるというよりは、知りたいということですね。こういう計画があるのですから、こういう実績を出して欲しいということ、知りたいということです。</p>
仲村委員長	<p>年間としては、その次の年度に図書館年報があるということですけど。</p>
高橋委員	<p>それは単なる報告でしょう。</p>
仲村委員長	<p>委員の立場としてということですね。</p>
高橋委員	<p>そうですね。</p>

仲村委員長	はい、事務局どうぞお願いします。
教育次長	次回以降の会議の参考にさせていただきたいと思います。その場合に、上半期を逆にやるのかやらないのかという部分もありますけれども、今後の会議の進め方のひとつのご意見として、参考にさせていただきたいと思います。
仲村委員長	ありがとうございました。
高橋委員	すみません。私も初めての出席なので、ぜんぜん流れがよく分からないので、いろいろこういう計画を議論して、年間をまとめて去年はこういうふうにやっていますよというのがかたちとして出てくればね、まだちょっと分かりやすいのですけれども。計画の話、あるいは数字としては確定した話、ちょっと気になりまして。以上です。
仲村委員長	ただ今の高橋委員からのご意見を参考にさせていただいて、事務局のほうよろしくお願ひしたいと思います。 そのほかに何か、委員の方からございませつか。
岡山副委員長	すみません。
仲村委員長	はい、岡山委員
岡山副委員長	それに関してなのですけれども、この資料を、私前期もやっていたので、今までは開催前に封書で送られてきて、分かる分からずに関わらず、全部目を通して、委員を受けた以上目を通してここに来ていたので、今回ちょっと初めて資料が用意できなかったということなのですけれども、たぶん初めてきて、初めてこれを見て、何かわからない部分がすごくあるのではないかと思います。私は前期やりましたので、全体の流れが分かりますけれども、私も一番最初の時は、家に郵送されてきたと

<p>大和田図書館長</p>	<p>き見たときは何かなという感じがあったので、これは本当に事前に送っていただきたいと思いますが、今回初めてではないですか、当日渡すのは。</p> <p>岡山委員がおっしゃるとおり、事前の資料の配布がなかったこと、申し訳ございませんでした。今後、こちらから、会議の開催前には皆さまのお手元に資料を配布できるようにしたいと思いますので、今回は申し訳ありませんでした。次回以降はお渡しするようにいたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>仲村委員長</p>	<p>はい。ということですので、次回以降よろしくお願いいたします。これだけの資料をまとめるのもなかなか大変だと思いますけれども、期日を決めて資料をまとめることにはいろいろあると思いますけれども、よろしくお願いいたします。</p> <p>はい、他に何かご意見ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、無いようですので、続きまして「議題3 令和2年度事業計画案」について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>大和田図書館長</p>	<p>「資料2 令和2年度事業計画(案)」の1ページをご覧ください。大和田図書館の令和2年度の事業計画についてご説明いたします。</p> <p>大和田図書館には、公民館との複合の仮施設とは別に同じ敷地内に児童の本を置いてある別館があります。別館の1階には絵本や紙芝居などが置いてあります。また、じゅうたん敷きのおはなしコーナーもあり、くつを脱いでくつろげる空間となっています。隣に公園もあるため、親子連れの来館も多いので、来年度も児童や親子対象の行事に力をいれていき、児童書の貸出冊数の増加につなげたいと思います。夏休みは普段図書館を使うことがない子どもも来館しやすい期間なので、「ぬいぐるみおとまり会」「こわい話のおはなし会」のほか子どもを対象に工作などの講座も開催して夏休みに行事に参加した</p>

<p>八千代台図書館長</p>	<p>子どもたちが、図書館や本の魅力を知ってまた、来館してくれるように、行事の開催時に本の紹介などもおこなって貸出につなげていきたいと思います。また、「このぼりをつくろう」や「図書館であそぼう」など参加した子どもたちが作ったものを館内に展示する行事も引き続き行っていきます。自分が参加して作った作品が館内に展示されていることで友達や家族と一緒に見に来てくれるのではと思っています。</p> <p>また、大和田図書館本館の老朽化にともない、そちらを閉鎖して昨年10月に仮設大和田公民館・大和田図書館へ移転しました。</p> <p>ひとつ屋根の下に公民館が入っているので公民館の職員とも協力して新しいイベントや講座を企画していきたいと考えています。</p> <p>来年度も来館した方に、また来館したいと思っていただけるように、本を探している時の対応、カウンターでの日常的な貸出・返却業務、電話での受け応えなどに気を配っていい雰囲気づくりができるよう職員、みんなで努めていきたいと思います。</p> <p>以上で大和田図書館の説明を終わります。</p> <p>八千代台図書館の令和2年度の事業計画といたしましては、資料2の1ページの記載のとおりです。</p> <p>行事については、おはなし会などの通年行事に夏休みの子供対象講座をプラスする平年通りで記載しております。</p> <p>月に1度第3水曜日に赤ちゃんから3歳くらいの子供を対象におはなし会を開催しておりますが、こちらがとても盛況で、たくさんの方に参加いただいております。小さいお子さんがいると、</p> <p>子供を介してのお友達が欲しいけれども行動範囲は制限されてしまうことが多いと思います。八千代台地区にお住まいの方ならば、月1回お散歩がてら、親子で楽しめて、お知り合いができる。そのような企画をおはなし会以外できないかと赤ちゃんとお母さんの参加いただける新規の行事を考えております。</p>
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>大和田図書館長</p>	<p>八千代台図書館をより多くの方にご利用いただきたいと考えております。</p> <p>まず快適に図書館で過ごしていただくためにより一層環境整備の努力をし、図書館に興味を持っていただくために来館が楽しくなるよう創意工夫をした運営で地域の図書館として公共施設の役割を果たしてまいりたいと考えております。</p> <p>以上、八千代台図書館令和2年度の事業計画となります。</p> <p>つづきまして、中央図書館・勝田台図書館・緑が丘図書館の事業計画について説明いたします。</p> <p>中央図書館・勝田台図書館・緑が丘図書館では指定管理者制度を導入しておりますが、現在の指定管理者との契約が本年3月31日で終了いたしますことから、昨年8月に指定管理者を募集し指定管理者選考委員会を開催して選出し、教育委員会の承認を得て、議会で議決されて、現行の中央図書館の指定管理者であるオーエンス・TRCグループが、次期の指定管理者に決まりました。</p> <p>なお、指定管理者との間に協定をまだ結んでいませんので来年度の詳細な計画につきましても協定締結後に提出していただくこととなりますが、図書館の管理部分を請け負うTRCからは「地域に根ざしたサービスを行う市民にやさしい図書館」の実現に向け、多種多様な資料の収集・保存提供、多様な情報技術を使った図書館サービスの提供、情報発信や課題を解決するためのレファレンスサービスを行い、中央図書館、勝田台図書館、緑が丘図書館の各館の施設の立地や特性を生かして住民の方のニーズを把握しつつティーンズサービス、児童サービス、高齢者サービス、障害者サービスなどを行い、魅力のある講座やイベントを開催するという提案を受けています。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>仲村委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に対し、ご質問、ご意見などはございますでしょうか。</p>

<p>大和田図書館長</p>	<p>無いようですので、続きまして「議題4 その他」に移ります。何か事務局よりございますか。</p> <p>大和田図書館本館の老朽化に伴う、仮設施設への移転につきまして説明いたします。</p> <p>お手元には、資料3として大和田公民館・大和田図書館仮設施設平面図・外観図・配置図を用意してあります。</p> <p>大和田図書館本館は昭和37年に建てられた旧大和田中学校校舎を転用して昭和44年に八千代市立図書館として開館しました。建物は築55年以上が経過して老朽化が著しく、昨年度の耐震診断で建物全体の強度が不足しているという結果がでました。そのため、閉鎖して同館敷地内に老朽化していた大和田公民館との複合の仮設施設をリース契約で建設して移転することが昨年度に決まりました。</p> <p>令和元年10月の開館を目指して昨年5月頃から工事にとりかかり、予定通り10月1日に開館しました。開館にあたり9月2日から9月30日までは大和田図書館を休館して移転作業を行っておりました。</p> <p>お手元の資料3をご覧ください。仮設施設は平屋で図書館部分の延床面積は約244㎡です。調べものや勉強をできる席は16席あります。また、座って雑誌などを読める4人がけの長椅子も4つあります。</p> <p>図書は約2万1千冊あり、雑誌は61タイトル、新聞は8紙購入しています。</p> <p>旧大和田図書館は学校の校舎を転用していたため、バリアフリー構造にはなっていませんでしたが、仮設施設は、そとからの出入り口は自動ドアでスロープもあります。また、車いすで使用できる多目的トイレもあります。このトイレにはベビーベッドもありおむつ替えができます。</p> <p>ホールをはさんですぐとなりが大和田公民館ですので公民館の来館者にも図書館を利用してもらえるように利用案内などができる機会を見つけてPRをして利用の促進につなげていきたいと考えています。</p> <p>以上で説明を終わりにいたします。</p>
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

仲村委員長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問、ご意見などはございますでしょうか。</p> <p>はい、吉原委員。</p>
吉原委員	<p>はい。会議講習室は、どのくらいの収容人数なのか。</p>
委員長	<p>はい、教育次長、お願いします。</p>
教育次長	<p>公民館の会議講習室ということでよろしいですか。</p>
吉原委員	<p>はい。</p>
教育次長	<p>おおむね50名ほどです。</p>
仲村委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>よろしいですか。ほかに何か、ご意見ご質問ございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、ないようですので、事務局から何かございますか。はい、中央図書館の荒井主査お願いいたします。</p>
中央図書館主査	<p>中央図書館・勝田台図書館・緑が丘図書館の指定管理者選考について説明いたします。</p> <p>中央図書館・勝田台図書館・緑が丘図書館では指定管理者制度を導入しておりますが、現在の指定管理者との契約が本年3月31日で終了いたしますことから、今年度は次期の指定管理者の選考を行っております。</p> <p>現在は、中央図書館は市民ギャラリーとの複合施設であり、現在、株式会社オーエンスと株式会社図書館流通センターからなる共同企業体であるオーエンス・TRCグループが指定管理を受けております。勝田台図書館と緑が丘図書館は、図書館流通センターとそれぞれ契約しております。今回は、市民ギャラリー、中央・勝田台・緑が丘図書館の4施設をあわせて指定管理の募集をいたしました。</p>

	<p>令和元年8月8日(木)に第1回八千代市教育委員会所管施設指定管理者選考委員会において、募集要項・管理運営仕様書及び審査基準について決定し、8月15日(木)から9月27日(金)まで公募による募集をおこなった結果、1社からの応募がありました。</p> <p>10月25日(金)に第2回八千代市教育委員会所管施設指定管理者選考委員会を開催し、プレゼンテーション及び質疑応答のあと、指定管理者候補者を選定しました。教育委員会の承認を得て、12月の市議会で議決されて、現行の中央図書館の指定管理者であるオーエンス・TRCグループが、次期の指定管理者に承認されました。</p> <p>指定管理の期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間です。今後、指定管理者との間に協定を締結してまいります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
仲村委員長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問、ご意見などはございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。それでは、荒井さんお願いします。</p>
中央図書館主査	<p>図書資料総合管理システムの更新についてご説明いたします。</p> <p>現在の契約が、令和2年3月31日までで5年目となり完了いたしますので、事業を引き続き円滑に運営するために、令和2年4月から5年間の契約をいたしました。11月に指名競争入札を行い、現行と同じ京セラコミュニケーションシステム株式会社に決定いたしました。</p> <p>現在の図書資料総合管理システムは、図書館資料の蔵書管理のほか、蔵書検索、予約サービス、貸出サービス、ホームページによるサービス提供などができるシステムです。各図書館を図書館専用のネットワークでつなぎ、1つの図書館電算システムを共有で使用することで、自館所蔵ではない資料の貸出や返却が可能となっています。また、中央図書館では、自動貸出機や自動返却機、予約棚などのIC機器を導入しております。次期システムにおいても、同じサービスの提供を行います。</p>

<p>仲村委員長</p>	<p>なお、新システムへの機器の入れ替え作業のため、令和2年3月上旬から4月初旬まで休館を予定しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今の説明に対し、ご質問、ご意見ございますか。</p> <p>よろしいですか。それでは、無いようですので、事務局から何かありますか。</p> <p>八千代台図書館の村山館長お願いします。</p>
<p>八千代台図書館長</p>	<p>今回の会議についてですが、例年は年度末に開催していますが、来年度は図書館の令和3年度以降の計画などについてまとめていく予定でありますので、夏ごろに協議会を開催したいと思います。詳細については、また担当の方からご連絡いたしますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>仲村委員長</p>	<p>他に何か、委員の皆様から発言したいことなどはございますか。ございませんか。もしありましたら、委員の方々、お願いします。</p> <p>よろしいですか。無いようですので、以上で議題は終了いたしました。</p> <p>それでは、令和元年度第1回図書館協議会を終了いたします。皆さま、本日はありがとうございました。</p>